

# ゆるキャラ効果で節電サイクル！！

名古屋大学法学部法律・政治学科 2年 田代智哉

私は省エネのアイデアを考えるにあたって、ひとりひとりの節電の意識が低いことが課題だと考えた。そのため、まず大学の構成員が節電に意識を向けられるように、ゆるキャラを利用し、またコストを減らせたならその一部を学生に還元させるアイデアを思いついた。

事業内容は以下のようなものを想定している。

まず、名大祭の「ふりゃあ」ちゃんのようなゆるキャラを作り、名大ポータルに設置する。そして、昨年比でリアルタイムの電気使用量がどう変化しているのかを顔の表情で表現する。また、累積の節電した電気使用量によってそのゆるキャラが成長していくシステムを設け、長期的に意識づけされるようにする。さらに、節電により減らせたコストの一部を学生に還元する。(例えば名大祭の景品にしたり、図書館の内装や設備を新しくするなど、目に見えるものが望ましい。)

上記のアイデアを実現するために、まず「ふりゃあ」ちゃんのようなゆるキャラを作成する必要がある。また、名大ポータルにゆるキャラを配置する場所を確保し、大学の学生、職員の目に入るようにする。また、学生に還元する内容を決め、目標設定し、大学の構成員に知らせる。

想定される効果は以下の通りだ。

まず、ゆるキャラという愛着が湧くキャラクターが、節電量によって表情を喜怒哀楽変化させるため、皆はこのゆるキャラがいつも笑顔になれるように節電を頑張ってくれるだろう。また、累積の節電した電力量によって、ゆるキャラが進化して姿を変化させるため、長期的に見ても飽きることがなく、大学の構成員全体が一致団結して節電に取り組むことができる。これは、昨今世間で育成シミュレーションゲーム等が若者の中で流行っていることから有効な手段だと言える。さらに、SNSで皆が、「このゆるキャラを成長させるように頑張ろう！」といった投稿をし、その投稿が拡散されれば、この節電アイデアによる効果は大きなものになるだろう。

なお、この節電による利益を学生に還元すると、事前に告知することで、節電へのモチベーションも高まるだろう。還元する内容は前もって決めておきたい。

このような流れで、構成員ひとりひとりが節電に熱心に取り組むことで、大学全体のエネルギー消費量の減少に大きく貢献する。